

Japanese
As The Eagle Stirreth Up Her Nest
57-0714

その鷲は巢を掻き立てるように
ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1957年07月14日



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム
"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその
僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就され
る。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

その驚は巢を掻き立てるように

1 …伝道の働きに出て行くためでした。そして皆さんの中にも、その時のことを覚えておられる方が多くおられると思います。私たちが出発したあの時のことを。

その朝、私は「ダビデがゴリアテに立ち向かう」という題で説教しました。あの朝そこにいた人たちの中で、今ここにいない方はどれくらいおられますか?…ああ、かなりの方がおられますね。

「ダビデがゴリアテに会いに行く」——今からおよそ11年前のことです。そしてそれが始まりでした…

2 そこが、私が最初に始めた場所でした。そしてその後、フリーマン兄弟、オーラル・ロバーツ兄弟、アレン兄弟、そして多くの人たちが続いて現れてきました。ビリー・グラハムもその後に出て来ましたが、もちろん、ビリー・グラハムは癒しの側には立たず、ただ福音の伝道、すなわち救いの福音を宣べ伝えることに進んで行きました。

そうして、それはすべて、あの日、主が川辺で現れて語られたとおりに始まっていったのです。

3 そして今、私はこれを、妻にも、誰一人にも、まだ話したことがありませんでした。これはまさに…今朝、教会の前で語るために取っておいたのです。

この11年の間ずっと、私にはどうも、はっきりした一点というか、出発点となる場所が見つけられないように思っていました。そして私は決して、「さあ、これをしなさい」とか、「私の大きな集会在」とか、「私のこれこれが」といったことを言いたくはなかったのです。私はむしろ、ただ脇に立って、小さな者のままで、主の御心を行っていたいといつも思っていました。

けれども今、この11年のうちのある一つの時点に来て、私はようやく、自分が主がなさろうとしておられると信じること、その地点に来たのだと感じています。自分が何のためにここにいたのか、そのことが見えてきたのです。

そして私は、何一つ利己心によるのではなく、ただ心のすべてをもって主に仕えに行き、できる限り力いっぱい福音を押し進め、また自分にできることをすべて行いたい、そう願っています。

4 さて、小さな赤ちゃんが獻げられる予定でしたか?それで少し触れてみた

のですが…どうでしたか、ネヴィル兄弟？違いましたかね。

実は、うちの小さな娘が、日曜学校のクラスに戻る前に、その赤ちゃんの奉獻を見たいと言っていたものですから、それで子どもたちをすぐにクラスへ戻さずにいたのです。

では、子どもたちは今、それぞれのクラスへ戻ってください。アーノルド夫人が担当の先生ですので…後ろの方へ行ってくださいね。はい、いいですよ。

今朝、うちの小さなレベカが言っていたのですが、その赤ちゃんは自分のおじさんの子どもなんだそうで、それで奉獻されるのを見たかったんですね。でも、まだ来ておられないようですね。もしかしたら、もう少し後で来られるのかもしれないかもしれません。

5 さて、福音のメッセージのすぐ後で、病の方々のために祈りをいたします。そして神がそれをなして下さることを、私は信じております。

ですから、あまり長く話すつもりはありません。病の方々のために祈る時間を、しっかりと取っておきたいからです。

6 さて、ここで、私たちの良き兄弟であり友でもあるコリンズ兄弟に読んでいただいた御言葉の中から、一つの箇所を取りたいと思います。申命記32章11節、その最初の一行です。

「わしがその巣をかき立てるように。」

7 今朝は、この御言葉を、その鳥そのものの視点から見て、それを教会になぞらえてみたいと思います。

それでは、このメッセージに入る前に、少しの間、頭を垂れて祈りましょう。

トニー・ゼーベル兄弟、もしよろしければ、神の御言葉のためにひと言お祈りしていただけますか。トニー兄弟。

[テープに空白あり]

8 このわしという鳥は、私が語るのが大好きな鳥の一つでして…まさに傑作とも言える存在です。

そして私は何度も、なぜ主がこの偉大な鳥を、ご自分の民にたとえられたのだろうか、と考えてきました。

言葉を掴み、どんな形であっても、それを正しく守っています。” 元気になるわ。

136 さあ、私たちのために『偉大な医師』を演奏してください。そして、立ち上がれない人たちのために、私たちはあなたのために祈りに来ます。キリストを知っている牧師たちをここに呼びます…

ば、それは終わります。あの鷺のようにホールドを設定してください。風が揺れるのを待って、そのまま待ってください、もう終わりです。言いたいことは分かる？

130 複雑で自己憐憫。そのときあなたは哀れな状態にあります。それは本当に本当です。自分を憐れむようになると、みんなに憐れんでほしいと思うようになり、自分自身を憐れむようになります。

131 私は一度、ポーチで故障してその場所に着きました。食事何もせず、寝ることもせずに8日間会議に滞在し、壇上に留まって病人のために祈った。ある場所に着いて、私は言いました。“ああ、まあ、これ以上気分が良くなることはないんです。”

132 ある日、私は叫び声を聞きました。そして、FF ボズワースの『キリスト教の告白』という小さな本の中で、キリスト教徒は見たものではなく、信じているものを告白すると聞きました。何を見ているのか、違いを生まないでください。そうではありません。私たちは視覚では見えません。私たちは信仰によって見ます。

133 私たちはそれらをアブラハムと呼び、あたかもそうではないものと呼びました。彼は彼らがそうだったと告白した。存在しない場合、それが起こる可能性はどこにもありません。彼は百歳でした。サラは90歳でした。しかし彼は言いました。“私たちは赤ちゃんを産むつもりです。” サラの子宮は死んでいました。彼は死んだのも同然だったが、約束したことを実行できると信じて、神の言葉を信じた。そして神はそれを実現させました。

134 ライオンの巣穴にいるダニエル、お腹を空かせたライオンはどうですか？燃える炉の中のヘブライ人の子供たち、子供たちはどうですか？12年間血液問題を抱えていた女性はどうですか？彼女は決して自分を憐れんだことはなかった。彼女は言いました。“彼の服に触れたら、私は元気になります。” そして彼女はそれを信じました。それはイエスを止めました。盲目のバルティマイオスを黙らせようとしていたときはどうなったのでしょうか？“あなた…彼にはあなたとふざける時間はないわ。” 彼は御言葉を言うのを聞くためだけに、もっと大きな声で叫びました。そうだね。ローマの百人隊長は？言った、“主よ、私はあなたが私の屋根の下に来るに値しません。ただ御言葉を言ってください、そうすれば私の僕が生きるでしょう。” そこにいるわ。

135 自己憐憫はせず、ただ御言葉を語ってください。“私はあなたのすべての病気を癒す主です。” 今朝、神の永遠の約束の翼を掴んで、「“それは私のものです”と言うなら、あなたの状況がどうであろうと気にしません。それは私のものです。私の中の何かが私をこの幕屋に呼び、祈るように呼びました。私は御

9 そして自然を学ぶうちに——いや、自然は、私にとって最初の聖書でした。私は、神をその御造りになった自然の中に見ることが大好きなのです。

もし一度でもその目で見ることができれば、山々へ行ってごらんください。高くそびえる大きな山々、そしてそこに生えているさまざまな木々を見てください。それらがずっと上の方では矮性のスプルーズになり、そこからヘムロックへと下り、さらにバーチへ、そしてまた下って広葉樹林へ、やがて砂漠へと続いていきます。

そうでしょう。小さな山々もあれば、大きな山々もあり、砂漠もあれば、草原もあり、海もあります。そういうものを見ていくと、神がどのようなお方であるか、また神が何を愛しておられるかを、とてもよく感じ取ることができるのです。

10 私は、まだ人の手が触れたことのない、そのままの自然の場所に行くのが好きです。神がどのようにそれを好んでおられるのかを見るためにです。

そして人の心の奥には、そのような場所を見たいと願う何かがあるので、多くの人が休暇を取って、さまざまな場所へ行き、いろいろな景色を見に行きますね。

それは本当に素晴らしいことです。変化を見ること、夕日が丘の上から沈んでいく様子、あるいは谷間から沈んでいく様子を見ること——それは実に素晴らしいものです。

11 そして、もし神を知っている人、あるいは神を知り、その心の中に神が生きておられる人であれば、そのようなものを、まだ回心していない人よりも、さらに深く味わい楽しむことができるでしょう。

なぜなら、この地を造られたその神ご自身が、その人の心の中に住まわれて、ご自身の創造されたもの、すなわちご自分がなさった御業を楽しんでおられるからです。

12 これまでに山々で、また砂漠で、いろいろな経験をしてきましたが、その思い出は、何ものにも代えがたいものです。

あの光景を眺めながら…オオカミの遠吠えを聞くのです。オオカミが遠くで叫び、まるで赤ん坊のように泣くその声が、今でも耳に聞こえてくるようです。

13 そしてまた、山の中でのことも思い出します。まだ少年だったころ、私は牧場で牛の世話をし働いていました。牛を追い集める時には、朝早く、最初の

組が四時ごろに出発して、あちこちを回りながら牛を探しに行くのです。ずっと高い山の方まで上って行きました。

そして幾度となく、朝一番のその見回りに出かけたものです。私はまだ少年で、年配の人たちよりも、ある意味では藪の中を少しうまく進めたものだから、それで、私たちは牛を五百ヤードほど下の方へ追って行ったりしました。

それから第二の組が、五時か六時ごろに出発して、さらに追って行き、十時ごろまでには牛を集めて来るのです。

14 そしてついには、夜になるころには谷が牛でいっぱいになるのです。そこで一人の者がそこに配置され、荷馬車は先へ進み、その間、その牛たちを見張るのです。

そうして、山々のあらゆる場所を探し終えると、一つの谷から別の谷へと牛を追って行き、さらに野原へ——私たちが「カット」と呼ぶ、あの草原の方へ出して行くのです。そこで、それぞれの人が自分の牛を選び分けるのです。

15 朝早く、たった一人で山へ登って行き、野鳥たちの鋭い鳴き声や、コヨーテがやって来る時のあの遠い呼び声を聞く——私にとって、そこには何か天に属するものがあるのです。

神が造られた一つ一つの小さな生き物が、自分の連れ合いに向かって、いつもの鳴き声を上げている。そこには何とも言えないものがあります。私はそれを幾度となく、ダビデが言ったあの言葉になぞらえてきました。

「淵が淵を呼び起こす。」

16 昨日、息子のビリーが私にこう言ってきました。「ブラックベリーを3ガロン分、誰かにあげたいんだけど、どこに持って行けばいいかな？」と。

それで私は、「どこにあるんだ？」と聞いたのです。

すると彼は、「まだ摘んでないけどね」と言いました。

そこで私は、「じゃあ、どうしてそれを人にあげたいんだい？」と尋ねたのです。

17 彼はこう言いました。「お父さん、朝早くブラックベリーの茂みに行つて、実を摘むのが大好きなんだ。でももうすぐ出発するし、瓶詰めにもすることもできないしね。」

始めます。ダビデがゴリアテに会ったときではなく、驚が空を飛んだときです。”新しいタイプを参照してください。

125 覚えておいてください、それを追悼としてマークしてください。もちろん、それはここにテープに記録されています。さて、人々が癒されない唯一の問題は、それが原因ではないということです。

ほら、私は疑問に思いました:ここに1つを設定します、癒されました;ここにもう1つです、そうではありません;長居してください、そして、そして、そして;ここにもう1つです;ここにもう1つです。どこかに何かおかしいところがある。それはこれだと思います。これは人々、特にしばらく病気になっている人々が築き上げる複合体です。

126 さて、あなたはそうではありません..私があなたに言うと、あなたはこれに憤慨するでしょうが、それは本当です:あなたは撫でられた子供を連れて行きます、その子供は撫でられたいと思うまでその場所に行きます。複合体を構築します。その子をうまく掻きさぶるまでは、その子に対して何もすることはできません。

127 さて、人が病気になる時期があります。彼らは自虐的になります。“ああ、私はそんな状態です。ああ…”私はこう言う人たちのために祈ってきました。“まあ、私は気分が良くなったとは思っていません。”そんな気分は決して良くならないでしょう。それじゃなくて。それは…、もしそれが態度であるなら、神に近づかないでください。なぜなら、それは神の目に正しくないからです。複雑なことはしませんが、屈強で強い信仰を持って来てください。決着した事だ。神はそう言いました、そしてこれで今解決します。

128 私がいつも祈っている妹がいます、ルークス夫人がそこに座っていると思います。私はいつもシスター・ルークスのアプローチが好きでした。私が礼拝を行った夜、彼女は癌で亡くなり、ここ高校で治癒しました。それは数人の医師を驚かせた。しかし、彼女は癒されました。そうですね、彼女は少し前に何か別の問題を抱えて私のところにやって来ました。彼女はただ近づいてきて言いました。“ブランナム兄弟、私のために祈ってください。”上がって彼女のために祈りました。彼らは彼女がそうなるだろうと言いました..ああ、言いました、“すべて解決しました。もう終わりだよ、ほら。彼らは私のために祈ってくれたので、それで解決しました。それだけです。”さて、それが私が話していることです。

129 “まあ、見てみましょう、と言うわけではありません。いいえ、気分は良くなったとは思えません。” ああ、慈悲。そんな風に来ないで。神の言葉が守られ

もし私たちが神に忠実であったなら、
 栄光に満ちた美しく明るい私たちの家、
 私たちのうっとりした魂が見るでしょう！
 神の不変の手を握れ！
 神の不変の手を握れ！
 永遠のものに希望を託し、
 神の不変の手を握れ！

121 今、主の恵みがあなたとともにあり、あなたの上に豊かに安らぎますように。手を挙げたあなた、そうすべきだったあなた、感情ではなく、神が約束をし、御霊があなたに語りかけたことに基づいて、今それを受け入れてください。あなたは十分に長い間巣の中にいました。あなたは驚です。神の約束に信仰を正しく置いてください。そしてあなたはクリスチャンです。風がどんなに激しく揺れても、そのままにしておいてください。

122 ある日、コヨーテが上がってきたとき、年老いた母鷲が子供を連れて行くのを見ました。まあ、彼女はそのコヨーテを粉々に引き裂いたでしょう。彼女は翼を広げ、その小さな子は彼女の翼に飛び乗りました。嵐が来て、その風が岩を転がす山々を横切って、時速60マイルだったと思います。彼女はその穴に突き刺さったところでは、彼女は小さな子供たちと一緒に岩の裂け目に行きました。

123 人生の嵐は悪くなる。いつかあなたはヨルダンに降りてくるでしょう。そうだね。ああ、私は彼とずっと話し合いました。じゃあトラブルは望んでない。今解決したいんだ。その朝は悪いことになるでしょう:兄弟、月は光を与えられないでしょう;太陽は黒く血まみれになります;星は、時機を逸したイチジクの木がイチジクで揺れるように揺れます;地球はげっぶをするでしょう;悪魔の叫び声;人々が通りに駆け込みます。じゃあトラブルは望んでない。今、これを確かめたい。私は彼と話し合いました。今こそ、神と話し合う時です。その時ではなく、今です。もう手遅れです。チケットを手にしたいです。[テープ上の空白部分。]

124 これだけ近づいて欲しいの。私はそれを知りました、そして昨夜か今朝早く、私が祈っていたときに主が語られ、昨日地下室に入り、神の前にひざまずいてしばらくそこにいて祈りました。どうやら、こんなことが私に浮かんできたようです。私は言いました。“明日の朝、少しお別れするために、私がしたように、今朝から

そして、「もし誰かあげられる人が見つかるなら、摘みに行きたいんだ」と言うのです。

それで私は、「じゃあ、どうして摘みたいんだい?」と聞きました。

すると彼は、「ただ朝早く、あのブラックベリーの茂みにいるのが好きなんだよ」と言いました。

18 私もそうです。私は…ただそこに入るためだけに、何か新鮮なもの、すべての罪が地上に定着し、どういうわけか、スイカズラは早朝に少しだけ甘くなります。バラは、バラの香りが谷に定着し、風が吹いて吹き飛ばされるまでそこに垂れ下がっているからです。それは、それが孤独であったことを物語っています。

19 神の御前で一人にいるのは、何と美しいことでしょう。教会に来るときだけ、教会で祈るために教会を作るのではなく、それを唯一の祈りにしてください。神と二人きりになれ。

20 そして、私がとても愛している山の高いところで、一人きりでいる時に、よく観察してきたものの一つが、このわしなのです。

双眼鏡でじっと見つめながら、その習性や様子などを観察していると、私は時々こう思うのです。いったいなぜ神は、ご自分の嗣業——すなわちご自分の教会、ご自分の民を、このわしになぞらえられたのだろうか、と。

ここから「わしの性質=信者の性質」に入っていく重要な導入ですね。続きをどうぞ。

21 この本の観点からワシを研究したところ、パレスチナだけでも40種類のワシがいることがわかりました。その中には腐肉食のものもあれば、通常の肉食のワシもいます。しかし、驚という言葉自体は、“くちばしで餌を食べる人”を意味します

22 さて、それを少しの間取り上げます。“くちばしで餌を食べるもの。”言い換えれば、彼は口で、自分の子供を養っているのです。そして、神を鷲に例えるのは良いことです。なぜなら、神は御言葉によって教会に栄養を与えているからです。神の言葉は神の口から来ます。“人はパンだけで生きるのではなく、神の口、くちばし、口から出るすべての言葉によって生きなければなりません。”神は口で教会に食事を与えます。私たちの魂は神の言葉によって支えられています。それは鷲にとってなんと美しいことでしょう。

23 そして次はワシです。彼はとても特別な鳥です。鳥科のどこにも彼のような人はいません。鷲のように舞い上がるものはない。双眼鏡の手の届かないところまで、空中にどんどん高く上がっていくのを、私はどのように観察してきたか。

24 タカとタカの目についてよく聞きます。ああ、彼は鷲にとってアマチュアだ。モデル T フォードが現代の鷲を追うことができたのと同じように、彼もその鷲を追うことはできませんでした。なんだ、彼はその鷹よりもはるかに先を行っているんだ。タカは彼と一緒に空中に上がろうとし、タカは死んでしまいます。そして、タカの目はワシに匹敵するものではありません。

さて、彼は特別に作られた体を持たなければなりません。なぜなら、ここまで来ると生きられなくなり、呼吸が止まってしまうからです。

25 狩猟旅行に連れて行く人たちに何度も気づきました。オバノン兄弟、彼は今朝、ルイビル出身のメソジスト派の牧師としてそこに戻ってくるかもしれないと思います。ベルトウー峠を越えると、そこに着くとすぐに死んでしまうようです。

26 私の義父、ブルムバック氏は、車から降りたとき(パイクスピークまで連れて行かれました)、すぐに前に倒れ、自分が死ぬだろうと思いました。その理由は、彼の体が高地に慣れていなかったからです。それで彼は電車から降りたとき、前に倒れてしまいました。

27 オバノン氏はこのノブの一つよりそれほど高くない小さな丘に登り、降りて山を滑り降りた。彼は自分が滅びるような気がしたと言いました。

28 モーガン兄弟、彼はそこにいると思います、モーガン姉妹の夫、私たちは山の高いところ、約9,000フィートにいて、テントを張っていました。彼はワゴンから降りたばかりだった。そして彼は私の足元を掴んで言いました、「ほら、ベリー、棟木を締めるためにあなたを抱きしめてあげるよ。」そして彼は私を支えている間にこう言いました、「ちょっと待ってください」。ちょっと待って。」そして私はすぐに地面に飛び降りて彼を掴みました。彼は両手を上げてこのように進んでいたの、私はできる限り彼を捕まえました。彼は大男だ。そして私たちはそこにオート麦の袋をいくつか置いて(馬をたくさん飼っていました)、ビルが意識を取り戻すまでそこに頭を置いていました。高度だと分かった。彼は言いました。「私には、私はただそのような谷を越えて出かけているように思えました。」

何だったんだ?彼はここ低地で育てられました。彼がそのような領域に入ったのはそれが初めてだった。

を襲うとき: “私は悪を恐れませんが、あなたは私と一緒にいるからです。あなたの杖と杖が私を慰めてくれます。”

118 私たちはこれらのことについて考えながら、少し頭を下げます。今朝、私たちが建物にいる間、あなたが長い間納屋を歩いていたのに、ここにワシがいるだろうかと思えます。あなたは、クリスチャンのふりをして、行き当たりばつりの生活を送っているだけで、そんなことにうんざりしています。

119 そしてどういうわけか、今朝、御言葉の説教によってあなたの魂に吹き荒れた小さな風がありました。何だか知ってる?羽が緩むのは母親です、あなたが抱き続けてきた世界の小さなことが、あなたを本物のクリスチャンから遠ざけています:その小さな疑い、その小さな恐怖、あなたがしがみついている世界主義の小さな束;あなたが走り回っているあの小さなパーティー。今朝、その風で羽をすべてあなたから洗い流してから、父の家に来てください。彼は今日あなたを支える準備ができています。

120 手を挙げていただけますか、ここにそれが必要な人はいますか?そしてこう言いなさい。“ブランナム兄弟、あなたが祈っているように、今日も祈りの中で私を思い出してください。”育ててくれる?神のご加護がありますように、お嬢様。あなた、兄弟。あなた、あなた。おお!兄弟よ、あそこに神のご加護がありますように。そしてあなた、私の兄弟。.. [テープ上の空白部分。]

時間は素早い翻訳で満たされています、

動かない地球は何も立たない、

永遠のものに希望を託し、

神の不変の手を握れ!

神の不変の手を握れ!

神の不変の手を握れ!

永遠のものに希望を託し、

神の不変の手を握れ!

(聞いて...)

私たちの旅が終わったら、

ああ、兄弟、彼の目はスズメにあります。私たちが知っていることの一つは、神はご自身のことを知っているということです。

113 老いた母鷲がたまたまこの納屋にやって来て、下を向きました。彼女は自分の子供を見た。農夫は彼を盗んだ。そうです、彼女の巣から出た卵ですが、それは彼女のものでした。彼女は彼に叫びました、“ハニー、息子よ、あなたは鶏ではありません、あなたは鷲です。あなたは私のものです。迎えに来たんだ。”

114 神が私にその叫び声を上げた夜を覚えています。“あなたはこの世の人ではありません。あなたは鶏の一員ではありません。あなたはもともと鶏ではありません。あなたは鷲です。あなたは私のものです、そして私はあなたを迎えに来ました。”

“さあ、ハニー、起きて私の言葉を聞いてください。少しジャンプして、小さな翼をバタバタさせるだけです。”彼女は納屋の周りを回っています。

ああ、今この瞬間も彼が納屋の周りを回っていることを祈ります：“あなたは私のものです。あなたは私のものです。”

115 その声には彼が理解できた何かがある。まあ、そうでした、“さようなら鶏小屋。”彼は小さな翼で大失敗し、納屋の柱の上に着地しました。彼は自分が何かをしたのを見た。すると、彼はある宗派に加わり、ペンテコステ派の組織の真っ只中にいたと言えるでしょう。

116 彼の母親は再び叫び、「“ハニー、あなたはそれよりも高く来なければなりません」と言いました。”

私たちもそうだと思います。私たちは組織、宗派、告白の下よりも上位にならなければなりません。

彼女は言いました、「“自分の中にあるものをすべて使って、もう一度ジャンプして失敗するだけです。”私はあなたを翼で捕まえて、あなたがいるべき場所まで連れて行きます。”

117 今朝はそれだ、友よ。病気かもしれません。あなたの教会は神の癒しを信じていないかもしれません。あなたは罪人かもしれません。あなたの教会は聖霊のバプテスマを信じていません。しかし、あなたの中には神を求める何かがあります。なぜ？あなたは鷲として生まれました。彼は今朝、あなたを連れ去るためにここにいます。彼の言葉はそう言っています。ただ、神が御言葉を広めてくださるとき、今朝、神の永遠の約束の中に希望を託しましょう。死がついに私たち

29 したがって、その国で育った男性は、それに慣れてしまっているため、それに気づきません。彼らの呼吸、彼らのすべては、彼らがそこに住んでいるからこそ、その性質になるのです。

それが、ワシが特別な体を持たなければならない理由です。ワシは非常に高く飛ぶことができるため、他の鳥が追いかけることができないからです。

30 ああ、それは生ける神の教会の典型です。雰囲気の中で生き、この地上の旅の何からも遠く離れた場所に住んでいます。あらゆることが可能な場所に住むこと。彼らはこの世のものにはもう目を向けられないような雰囲気の下で暮らしていますが、巻き込まれてキリスト イエスの天の場所に定住しました。特別なことが必要です…神はこのタイプの体を設計するために何かをしなければなりません。

31 ワシのもう一つの特徴は、とても強い翼を持っていることです。時々、ある球体のすぐ上の流れに当たると、その流れが非常に強くなり、タカが追いかけると、その流れが非常に強いため、タカの羽が引き裂かれることがあります。そして、鷹の翼を後ろに折りたたむかもしれません。そうすれば、彼はすぐに地上に落ちて滅びるでしょう。したがって、ワシが生きるためにそれらの場所に行かなければならないのであれば、そこに行くように設計されなければなりません。

32 そして、もしクリスチャンが天国の場所に住むとしたら、それは風が彼を襲ったり翼を引き裂いたりしない天国の場所に彼を詰め込むために、神ご自身の御霊の設計でなければなりません。鷲を包むあの二つの大きな強い翼は神の言葉を表しています。しかし、私たち…鷲には二つの翼があり、その二つの翼は新約聖書と旧約聖書を表しています。

33 強い羽；1回1つを引き出してみてください。ああ、ペンチを取り出して足を乗せて引き抜きます。なぜなら、ペンチは強く設計されなければなりませんからです。

34 それから神は再び鷲を、彼がとても高く、とても高く行けるので、預言者に例えました。彼は預言者を鷲と呼んでいます。鷲はとても高く飛ぶことができ、遠くを見ることができるようです。さて、高く行けば行くほど、遠くが見えるようになります。そうすれば、彼の目が彼の高い登りの能力と比較されなければ、彼は盲目になるでしょう。しかし、ワシは高く登る能力に見合った目を持たなければなりません。

35 ああ、もし教会が鷲の目しか持てなかったら、それはできるだろう。地上に

縛られた自然な目ではなく、遠くを見ることが出来る霊的な目だ。私はここで歌っていたあの古い歌を聞くのが大好きでした

信仰によって私はそれを遠くに見ることができます；

わたしたちの父は道を待っているからです

そこに住居を用意するためです。

36 そして、生まれ変わった人は、信仰によって、はるか遠くを見て、神の全能性を見て、すべての言葉を前向きな行為と呼ぶことができます。彼は登るように設計されています。祈りによって、彼はそこに着くまで、先へ進み続けます。そして、もし彼が見るように設計されていないなら、彼がそこにいるとき、彼はただ戯れているだけです。

37 それが、私たちの教会が今日非常に失敗していることです。神の祝福はただ踊ったり、叫んだり、そのようなことをすることだけだと考えています。その癒しは、私たちが世界に戻れるようにするための単なるものです。

38 私たちがこれらの成層圏に詰め込まれているとき、神は私たちに、それが父であること、神の子供たち、神の子孫に対する神の愛ある憐れみが、はるかに大きなものを予感させることであることを遠くに見る目を与えてくださいます。はい！

私たちはあの祝福された古い歌を歌っていました：

祝福された確信よ、イエスは私のものです！

ああ、なんと神聖な栄光の予感でしょう！

救いの相続人、神から買い取られた、

神の霊から生まれ、神の血で洗われました。

39 それは、はしゃぐためだけでなく、遠くを見るために、あそこに舞い上がることができる本物の神の驚です。ちょうど約4,000年前の預言者ナホムのことを思い出してください。ある日、神の大驚が立ち上がりました。

40 してもう一つは、ワシは飛ぶために翼をバタバタさせないことです。ワシは羽を張るだけで、地面から足を離すとただの余暇の鳥になります。彼はジャンプして数回失敗するだけで、風を翼の下に当てるのに十分なだけになり、苦

こいと思う。”馬鹿げている。そして本物のワシの方がよく知っています。“ああ、社交的な飲み物は誰も傷つけません。”それは罪です。本物のワシはそれを知っています。“タバコを吸っても何も悪いことはありません。”本物のワシはもっとよく知っている、彼の性質は違う。

107 彼はただあの小さな鶏の群れと付き合っていただけだ。お母さんはこう言うでしょう、“さあ、こっちへ来なさい。”そして彼らはただ選んで、大きなことで大騒ぎしているだけだろう：“ああ、まあ、ブンコの試合があるよ。牧師にお金を払います。”驚は外に立っていた。彼はそんなことは望んでいなかった。いいえ先生。彼について違うところがあっただけです。

108 鶏の巣の中であんなふうには孵化したのを見たことがありますか？つまり、これらの現代の教会のいくつかですか？彼らは賛美と使徒信条を持って立ち上がり、数歌を歌い、花について話し、家に帰ります。あのワシは餌を与えていない。それはスカベンジャーです。彼はそれに耐えられない。それで、彼は後ろにいる小さな醜いアヒルの子のようについて行きました。

109 そして、年老いた鶏はある種の何かを見つけ、肥料の山で見つけた特定のものを鶏にコッコと鳴かせ、鶏にコッコと鳴きました。小さな年老いたワシが歩いてきて、それを見て、たとえば、“私はそのようなことに参加することはできません。”神の性質に感謝します。

110 それが私が選挙を信じる理由です。あなたは神の恵みによってありのままのあなたです。あなたが自分自身を何かにしたのではなく、それは神が主権的恵みを通して、世界の建国前にあなたを造られたものです。望むなら、善良になって教会に行こうとするかもしれません。“望む者も走る者も神ではなく、慈悲を示すのは神です。”そうだね。

111 そもそも彼は驚だ。彼はどうしても我慢できない。心配するな。彼らはこう言うかもしれません。“あれやこれやの聖なる巻物の集団の周りを回らないでください。”心配しないでください、彼は何よりも確実にその方向に向かっていきます。

さあ見て。小さな鶏たちは歩き回って、素晴らしい時間を過ごしていると思っていました。

112 しかし、ある日、彼らが納屋に出ているときに、空に叫び声が聞こえました。年老いた母親がたまたま通りかかり、下を向いた。彼女はこの小さな男が引っ張って見ているのを見ました。

ことに、彼女はそれらをすべて選ぶことができます。何か起こり始めたら、彼女はただ叫び声を上げて、そのように言葉を投げかけます、そして彼らはそのように羽の中に飛び込み、一生しがみつきます。なんて素晴らしい鳥なんだろう。

なんて素晴らしい救世主でしょう。そう、なんと素晴らしい救い主でしょう。

102 そして、彼らが投げ飛ばされ、最初の小さな飛行であるテスト飛行中ずっと投げ飛ばされた後、彼女が降りてくると、彼女は翼を投げ出して叫びました。彼女はこれを拾い、あれを拾います。ああ、私の。それから彼女は彼らを谷に連れて行きます。彼らはこれまでそこに行ったことはありません。彼らはただ古い巣、吐く巣にいただけで、臭いのです。彼女は彼らを波打つ水が流れる谷に連れて行きます。

“主は私の羊飼いである；” ダビデは言った、“私は望まないだろう。彼は私を静かな水のそばに導いてくれます。” なんて素晴らしい。

103 ある時、農夫が鶏をセットしていて、その鶏の下に鷲の卵を置いたと言われています。それで、鶏がしばらく固まった後、彼女は…ここにいる女性のうち、卵の固まりが何なのか知っている人は何人いるのでしょうか？ああ、この農家なら知っているだろう。15は設定だと思います。それで彼は14個の卵を持っていたので、その下に鷲の卵を1個入れました。それが現状であり、設定のうち1つについては、それを取得する方法に関するものです。そこで彼は古い鶏と納屋の雰囲気を設定しました。しばらくして、ついに全員が孵化しました。この小さなワシが孵化したとき、彼は他の人たちにとって面白い見た目の鳥でした。

104 そして、本物のワシは、こうした近代的でいわゆる洗練された教会で生まれたとき、ある意味、型破りな存在なのです。

彼は鶏の鳴き声が理解できませんでした。

そしてそれが、今日、あの鶏の巣の一つで生まれた本物のクリスチャンのやり方です。彼らは理解できない。

105 “ああ、さあ、子供たち。ただ、大丈夫だよ。” 老鶏は彼らを納屋に導き、肥料の山やその他のものをすべて拾います。あのワシはそれを食べられなかった。彼は違う性質を持っていた。彼は餓死寸前だった。それが、本物のクリスチャンがこれらの古い遺体安置所のいくつかを回避する方法です。

106 “ああ、教会に来てください。本にあなたの名前を載せてください。そして、ああ、大丈夫です。ショートパンツを履いて午後には草を刈ることができます。かつ

労したり苦労したりすることはありません。彼はもうジャンプしませんし、翼をフロップすることはありません。彼はただ翼をセットし、回転する地球からの流れに支えられます。

41 それが真の信者のやり方であり、彼は教会から教会へ、柱から柱へと飛び移って、メソジスト、バプテスト、ペンテコステ派、ナザレ派にあちこちで遭遇することはありません。彼はただキリストを救い主として受け入れ、口でキリストに食事を与えている神の言葉に翼を置き、ただ休んで上に向かって航海します。彼の翼は強いので、失敗する必要はありません。彼は強い、決して羽を動かさない。ああ、あの空の達人よ、彼らはただその羽を取り出して落とし、その風に乗って、すぐに乗るだけです。そして、彼はどうやってそれをすることができるのか。

42 4000年前、ナフムと呼ばれるあの大きな鷲は、神の霊によって非常に高いところまで昇り、4000年後にシカゴのアウトドライブを見ました。言った、“戦車は広い意味で激怒するだろう。稲妻のように走り、松明のように見え、ただ互いに衝突するだろう。”

43 それらの預言者たちは、これから起こることを遠くに見ることができるほど高く行ったのです。もしこの場所が光ったことがなく、この大陸に太陽が存在せず、空中に十分に高く上がって他の国の太陽を見て、太陽がこのように動いているのを見ることができたら、戻ってきてこう言うことができるでしょう。“いつか植物が生えるでしょう。他にもあるでしょう。ここは荒涼とした場所ですが、太陽が昇るとすぐに植物も生えてきます。” そして彼らは、..あなたはそれを見ることができました。そして、ついに太陽がここに到着すると、遠くで見たものがここにあるでしょう。

44 それが神が預言者たちにすることです。彼らは立ち上がります、そして彼は知っています、なぜなら彼らは信仰によって、罪が終わり、病気や悲しみがなくなる日が来ることを見てきたからです。死と悲しみは消え去り、老後の居場所はなくなるでしょう。会葬者の居場所も墓地も失望もありません。神の鷲たちは、その日が来ることを知るまで、神の成層圏に高く飛び込み、再び降りてこの聖書に書き留めました。そしてどういうわけか、その領域に入ると、何かがやってくる、何かが私たちに飢えさせるのを感じることができます。

45 昨晚、私はポーチでネヴィル兄弟の親戚であるケリー夫妻と話していました。そして私たちは復活について話していました。私は言いました。“歌っているのと同じくらい、あの小鳥たちにも気づきます。” そして、先日、川にいる小さな魚が生き返ったことについて話していました。先ほども言いましたが、最後にここに来たとき、ライル兄弟がそこに戻って口から内臓を引き抜き、水に投げ込ん

だとき、30分前に死んでいたと思います。そして、聖霊が来て、「話してください」と言ったとき、小さくて取るに足らない魚が彼の命を受け取り、ひっくり返って愛する人のところへ泳いで戻りました。なぜなら、無限の神がそこにいたからです。

46 彼は自分が作ったものすべてについて心配しています。しかし、あの小さな魚には魂がありません。あの小さな魚は天国に行きたがらなかった。動物、馬、牛、犬、その他の動物には魂がないので、来世への憧れはありません。しかし、何か違うものを切望する魂を持っているのは男性も女性もです。神がそこに置いた祝福された渴きは、神の後に渴くことです。

ああ、鷺は神の遺産に例えられる素晴らしい鳥です。

47 約 2 年前、妻と私、そして義母の多くはシンシナティ動物園で 1 日を過ごす予定だったと思います。そして私は、当時サラだったと思いますが、小さな女の子と一緒に歩き回っていて、彼女を静かにさせ、ウッドチャック、リス、さまざまな動物を見させていました。

48 そして私は鳥たちがいた檻に近づき、大きな檻、大きな巨大な檻に惹かれ、今まで聞いた中で最も恐ろしく哀れな音を聞きました。あそこに行くと、人間の装置の狡猾さに捕らえられた大きな鷺を見つけました。彼らは罟を仕掛け、それが彼を捕まえ、檻に入れました。

49 そして、その大きな男は檻の片側に歩いて行き、その大きな強力な翼でスタートを切り、鉄の棒に体を叩きつけ、それが彼の知性と感覚を彼から遠ざけそうになるまで続けました。彼は自分自身を解放しようと全力を尽くしてそれを失敗させましたが、それが彼を再び床の真ん中に叩き落とすことに気づきました。彼の頭の毛と毛皮は叩き落とされていた。彼はあちこちで出血していた。彼の大きな翼は、その端を横切って、自分自身を解放するために檻を叩くために自分自身を爆破しただけで生になるまで殴られました。

50 そして私はそこに少し立って、腕の中の小さな女の子を抱き上げて、こう思いました。“ああ、神様、なんて光景でしょう。” 鷺、天国の鳥、そして彼の家が地面ではなく空中にあること。彼は地上に縛られた生き物ではありませんが、人間の狡猾な装置が彼を閉じ込めており、どれだけ自分自身を解放しようとしても、それはできませんでした。そして彼は、いわば鉄の棒に頭を打ち付けていただけだった。

51 私はこう思いました。“それは本当ではないでしょうか。教会に入ったり、

とてもハイになってほとんど見えなくなると、彼女は奇妙なことをします。彼女は空中で彼らをすべて彼女から振り払います。

ああ、その場所に来なければならない時期があるはずです。

彼女はなぜそんなにハイになるのでしょうか？ワシだ。ワシでなければそこまで高くは行けない。彼らはそこに着く前に死ぬでしょうが、彼らはワシです。

98 そして真の信者は、無神論者が何を言おうと、他の誰かが何を言おうと、もし彼らが神の鷺であるなら、彼らは御言葉に留まり、御言葉が彼らをどこへでも連れて行ってくれるようにします。

そして彼がそこに上がると、そのように彼女の翼を振ると、ワシが四方八方に落ちます。彼女は叫ぶ。彼女は何をする？“子どもたちよ、あなたは一人でいます。” あの小さな仲間たちは、カラスやタカ、あるいは何も捕まえられない空中で翼をバタバタさせ始めます。

99 それが神があなたを連れて行く方法です。彼はあなたを、教会や宗派、あるいは他の何物も従わない新しい経験に連れて行きます。神があなたを一度、一人で揺さぶったとき。

100 そして、彼らが振り落とされると、母親は彼らから離れるのでしょうか？いや、あなたの心を祝福してください。彼女は彼らの周りをぐるぐる回り、それぞれを見始めます。そして、彼女は、混乱したり、その他すべてが、彼らの中にあるすべてのもののためにただ失敗している小さな仲間たちをどれほど楽しく見なければならぬことでしょうか。彼らは怖がっているのでしょうか？いいえ、彼らは決して怖がりません。なぜなら、彼らは母親の絶え間ない存在と、母親が再び彼らを支える最高の能力を信頼しているからです。そして、もし人がたまたまケータリングから抜け出して、深いところで降りたら、彼女が何をするか知っていますか？彼女は彼の下に急降下し、翼と言葉を持って彼を抱き上げ、再び彼を恵みに育てます。

私がカルヴァン主義者であるのも不思議ではありません。アーメン！

神は御言葉を持って手を伸ばし、鷺を手に入れ、再び彼を支えます。

101 つまり、彼らは気楽です。彼らはただバタバタして、大声で叫び、大声で叫び、本物のペンテコステ派のリバイバルを起こします。あの小さな仲間たちは、時々倒れたり倒れたりしましたが、気にしませんでした。ママが彼らを見ています。はい、先生、彼女は彼らの周りを、すぐ周りを航海しています。そして奇妙な

たをわたしのもとに迎え入れます。そうすれば、わたしがいるところに、あなたもそこにいるでしょう。わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は永遠の命を持っています。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲み、わたしのくちばしから養う者は永遠の命を持っています。そしてわたしは終わりの日に彼をよみがえらせます。”

92 暗くなるベールの向こうにある地球のあらゆる試練と、この世の涙と悲しみの中で、本物の鷲はそこに爪を立てて言いました、「“固い岩であるキリストの上に私は立っています”。私は母の翼の上で、十字架の翼を握りしめながら休むつもりです。それが贖罪をもたらしたことを知っているからです。”

93 彼女は彼らを空に連れて行きます。ああ、神の不変の言葉を守れば、もうすぐ試験飛行ができるでしょう。

さて、年老いた母親は翼を広げ、空に向かって立ち去ります。彼女はあなたをこの地球に残して、あなたに経験を与えることはできません。彼女はあなたをととても高く連れて行かなければなりません。

94 問題は今日、私たちが泥を這っていることです。私はよくパパに泳げると言っていました。そして、私は小さな古い箱を1フィートほどの水で跳ね返らせ、泥が四方八方に飛び散り、そのように手を叩きました。ある日、私は叔父にそれができると言いましたが、叔父はオールを取り、私を約6フィートの水の中に押し出しました。それは違いました。それが今日の教会です、泥が這っています。教会に行つて賛美歌を歌つて家に帰るだけです。

ああ、出発しなければならぬ時間が近づいています。

95 この母鷲は、翼を広げ、約束を守り、小さな鷲が一つ一つある約束を守ると、その大きな見事な翼で立ち上がり、小さな鷲がその翼の上に座ります。彼女は続けて、続けて、彼らはしがみついています。ああ、彼らは緩まないでしょう。ワシだ。彼らは嵐の中を進むかもしれない。それは何の違ひもありません。彼らは持ちこたえます。

96 そして、あなたが鷲であるとき、もし神があなたの心に約束を託したなら、医者はあなたが明日死ぬと言うかもしれませんが、あなたは我慢するでしょう。あらゆる揺れ、あらゆる嵐、あらゆる高くて嵐のような強風、私の錨はベールの中に留まります。どうやって乗り越えるか分かりませんが、このアンカーを握っています。

97 彼女が空高く舞い上がるまで、ずっとずっとずっとずっと。そして、彼女が

自分のやっていることを何でもやろうとしたりして、サタンのこの狡猾な装置から自分を解放しようとしている人々は、自分の脳を叩きのめしているだけだということです。” あなたにはできない。あなたは檻に入れられ、捕らえられ、その鷲と同じように自分自身を解放することはできません。解放するにはあなたよりも優れた手が必要です。It takes a Hand superior to your pastor or any denomination; only the hand of God can do it. それはあなたの牧師やどの宗派よりも優れた手が必要です。

52 それから私は、あの大きな鷲が何度も試みて失敗した後、そのように頭の上に倒れ、そこに横たわっているのを見ました。私は血を流しながら彼を見つめた。疲れた目は上を向いて空高く舞い上がっていた。そこが彼がいるはずだった場所だが、彼と彼の自由の間には彼が突き刺すことのできない鉄格子があった。と思いました、“それは残念ではないでしょうか？それらの大気と成層圏のために生まれたあの天上の存在、鳥を見て、残りの死すべき生涯をここに檻に入れること。” 私は思いました、“それは疲れた光景です。”

53 しかし、ああ、私はそれよりも悪い光景を見たことがあります。神の息子や娘として生まれ、檻に入れられてこの世を歩き回り、罪に囚われ、不法行為に形作られ、歩き回っている男女を見たとき。この地上では、世俗的な喜びで彼らの切望を満たそうとしています。

54 発言したり悪いことをしたりするつもりはありません。私が言いたいのは、先日シカゴから戻ったばかりのとき、私は妻と一緒にスプリングストリートにいたということです。彼女は子供たちがカナダに着ていく服を買っていました。

55 そして通りを下ると、小さな母親がやって来ました。そして、その小さな女性が赤ちゃんを抱っこして着ていた服装は、人間にとって恥ずべきものでした。そして私は思いました、“可哀想な小さな女性、おそらく誰かの最愛の人、その貴重な小さな赤ちゃんの母親；そして彼女の口にタバコをくわえて、灰は小さな赤ちゃんの上に飛び散りました。” そして私は思いました、“どこかの家では女王になれる女性、平和で素敵な家かもしれないけれど、聖書の代わりに、あらゆるものにタバコが、あらゆるものにビールが、そして大騒ぎと嫉妬が溢れているのは間違いない、と。”

56 それは、ラジオ、テレビ、無修正番組、ラブストーリーなど、さまざまな状況によって彼らが檻に入れられ、アメリカ国民の心を掴んできたからだ。そして彼らは神の息子、娘として生まれたとき、現代社会の奴隷となるのです。

57 ある時、私は精神病院に行ったのですが、そこで若い女性たちが…母親と

一緒に小さな女性のところへ行ったのを見ました。そして、若い女の子たち、この若い女性、ある女性は、便器を使って顔を洗っていました。そして私は言いました、“何が起こったのですか?”

彼女は神に仕えるよう召されましたが、めちやくちやになってしまいました。少しずる賢い少年がやって来て、彼女を世俗性の檻に投げ込みました。すると彼女は捕らえられ、精神と精神能力を失い、施設に収容されました。

58 数日前、別の地元の牧師と一緒に、医師の娘である素敵な少女が、人生のほぼ多くを、早くから、30歳か35歳になるまで過ごしてきた家に立っていました。美しい女の子。そして彼女の母親が私に電話して泣いていました、そしてそれは素敵な女の子でした。

59 そして、現代の懐疑的な科学者がその素敵な子供を捕まえてこう言ったのを見たのです。“男の子にキスされたことがないと言うつもりですか?何を見逃したのか分からない。”そして、それらのことについて考えることに心を向け始め、その貴重な鷲を檻に入れます。

すると、ポーチにいた彼女の愛しい老母が私と握手して言いました。「“神の恵みにより、彼女は救われるでしょう。”」そして彼女はそうするだろう。

しかし、目に見えない空を舞い上がった神の鷲を見つけることは、そのような罠にはまる可能性があります。今日、街は彼らでいっぱいです。

60 自由になるために生まれ、神の息子や娘になるために生まれ、罪を超えて罪から離れて生きる男女が、酒場やダンスフロアを騒がせている。なぜなら、蜘蛛のような巣が彼らをあちこち掻き回し、ついには検閲されていないプログラム、学校、無神論の教えに巻き込まれてしまったからだ。そして、悪魔の現代のあらゆる装置;そしてこれを言うのは残念ですが、多くの場合、彼らを緩く手放した現代の教会は、彼らが教会に属している限り、やりたいことは何でもします。

61 言っておきますが、親愛なる最愛の友人よ、生ける神の教会に属する方法はただ一つです。それはそれに参加するためではなく、その中に生まれるためです。自然が変わり、古いものはすべて自由になります。

62 さて、神はご自身の遺産を鷲に例えました。なぜなら、鷲が行うもう一つのこと、鷲が巣を高く築くことだからです。ああ、ロッキー山脈のはるか高いところでワシを研究するためだけに、何度も馬から降りて小さな苗木に結び、双眼鏡を手に入れて空を探してワシを見つけました。そしてワシは巣をできるだけ高

きたくないのです。母親は、自分の子供たちが、あの古い鷲の雛のように、あの納屋の向こうにいる(彼女の雛)のようにならないと決心しました。彼女は彼らをそのように望んでいないので、彼らに経験を与えなければなりません。そして、この経験をするために、彼らは言葉、翼を握りしめます。ちょっと待って、そこに横たわってください。ああ、彼らがそれをするのを見るのはとてもドラマチックです。

88 ああ、ある日、私は向こうのコラルピークスで岩の上に腹ばいに横たわっていました、ブラザー・ウッド;そして私は外に出るまで赤ん坊のように泣き、叫びました。馬も追い払います。ああ、仕方なかったけど、こう思ったんだ。“ああ、この小さな男: 世界中のミソサザイ、カラス、ノスリは皆、その羽は持たないと言うかもしれない。あなたは鷲として生まれたので、違うことを知っています。” ああ、もしあなたが神の子として生まれたなら、どんな神の約束にも自分の錨を置き、それを守ることができます。絶対に、ご存知でしょう。

堅固な岩であるキリストの上に、私は立っています

他のすべての敷地は砂を沈めています。

89 何もあなたを動かすことはありません。“これに私は教会を建てます、”とイエスは言いました、“そして地獄の門はそれに勝つことはできません。”何もそれを動かすことはありません。それは神の永遠の言葉の動かない岩です。死の瞬間、すべての希望が消えたとき、神から生まれた子供は神の永遠の言葉の上に立ち、この涙の向こう側を見て、「“私は復活であり、命である”」と言った神に目を向けるように言うことができます。死そのものでさえ彼らを揺るがすことはありません。ワシだ。天国生まれの鳥たちです。彼らの本質は、それを信じ、信頼するように設計されているのです。

彼女が叫んでいるとき、彼らはその声を知っています。彼女は彼らに説教しています。彼女は自分の言葉、神の言葉、偉大な翼を広めます。

90 それが今朝、神があなたたち病人に広めていることです。一生そこに閉じ込められそうな病気の人たちよ、悪魔があなたにそれを信じ込ませることができれば、彼はあなたを捕まえます。しかし、あなた、ダーリン、小さなワシの子たちよ、神は御言葉を広めてくださいます。「その上に横たわってください」。そこに立って。何も揺さぶらないでください。彼女は実績がある。

91 もしあなたが罪人で、死ぬのが怖いなら: “ブラナム兄弟、人生のこの小さな脆い糸が切れ始め、私の魂が私が知らないどこかに飛び込み始めたら、私はどうしますか?” 神の言葉に信仰を置いてください。“わたしは再び来て、あな

81 小さな子供たちは岩の裂け目で生まれます。彼らは風について何も知りません。したがって、彼らが感じる最初の風は母親の翼を通して扇がれるものであり、世俗的な教会で作られた神学ではありません。

82 しかし、本物の鷲は神の霊から生まれます。神の鷲、彼を感じる最初の突風、それはある種のメイクアップ感情ではありません。それは神の言葉を通して彼に扇ぎ、彼の中のあらゆる羽を揺さぶります。彼はテストを受けている。彼は飛行機に乗ることに決めている。

ああ、神よ、今日、御言葉によって教会を揺るがすでしょう。すべての小さな行き詰まり、小さな主義、そしてあれやこれやを少しずつ解き放ちます。

83 そして、扇いで羽を広げ、緩んだ羽がすべて吹き飛ばされると、彼女は巣に落ち、翼を脇に置き、広げます。ああ、それが大好きです。それらを広げるだけで、小さなワシが羽ばたきます。

84 さて、覚えておいてください、彼女の羽はペンチでは引き出すことができません。そして、小さなワシたちは、テストされた翼の羽に小さな足を安全かつしっかりと固定します。

ウイングとは何ですか？言葉。そして、神の子は皆、信仰に立ち向かい、時代を超えて試されてきた神の永遠の言葉を握り、初めての単独飛行をします。

85 彼女は彼らに経験を与えるつもりです。急風は羽を緩めるためだったので、羽は大丈夫になります。翼に穴が開いていて、羽がいくつか欠けている可能性があります。そして、彼らが落ち着くと、彼らの小さなくちばし...見てください、彼らは小さなくちばしを取り、手を伸ばして母親の翼にある丈夫な羽を掴み、母親はそれを振ります。どういうわけか、彼らはそれをすることを知っています。なぜ？彼らは自然ワシです。必要なら鶏にそんなことをさせることはできません。彼はそれについて何も知りません。

86 それが、この冷酷で形式的な、いわゆる現代の宗教の一部が、より高くより良い生活という祝福された経験について何も知らない理由です。彼らはそれについて何も知りません。彼らは言います、“ああ、その聖書は誤訳されています。これ、あれ、そしてもう一つです。”

ああ、兄弟よ、もし今朝病気なら、神の言葉をすべて心に留めて、飛行機に乗る準備をしてください。

87 お母さんがあなたをベッドから連れ出します。お母さんはあなたをそこに置

く作ります。なぜ？安全と保護のためです。彼は捕食者が近づけなくなるまでとてもハイになっています。コヨーテはワシの巣に来ようとして首を折った。

63 ああ、それが神がご自身の教会を鷲に例えた理由です。なぜなら、鷲の巣、つまり教会はこの世の配慮をはるかに超えて建てられているからです。危険線から；血を渡る；現代の徘徊する捕食者が決して到達できない場所。彼は言いました。“あなたは丘の上にある街、部屋の中で灯されるろうそくです。”ああ、生ける神の教会は高い野心の上に高く建てられています。

成長する野心を持たない教会について聞くと、その教会には何か問題があります。生ける神の教会は高い野心を持っています。

64 そしてもう一つ、生ける神の教会は高い期待と期待を持っているため、高く建てられています。言ってください、“そうですね、私たちは教会に属しています。私たちの父は何年も前にこの教会で奉仕していました。”それはいいかもしれないが、生ける神の教会は静止することはできない。その目標は、より高く、より遠くまで進むことです。

65 今日、私たちは盲人が癒されるのを見ます。私たちは明日、死者がよみがえるのを見守っています。自然が神の声に従うのを見たとき、私たちはキリストの到来を探していることになります。その野心は高いです。その期待は高いです。その期待は高いです。高く建てられています。記念碑として設置されています。

66 職場のクリスチャンは丘の上に置かれています。彼の野心は高い。上司が他の誰かをキリストに勝ち取ることだ。そうだね。彼の期待は高く、どこかで神が彼に誰かと話す機会を与えてくださるだろう。

67 ワシは巣を高く上げ、その機会を見守っています。そして、彼女の小さな子供たちは生まれ、生まれたときは安全です。

そして、最高峰、最も堅固な岩の上に野望を築く生ける神の教会、キリスト・イエスは、彼らの幼い子供たちがキリストの中に生まれたとき、彼らは安全です。“主の御名は力強い塔です。義人はそこに駆け込み、安全です。”確かに。

68 ああ、彼女は強力な鳥です。しかし、彼女について言えることは、どんどんたくさんありました。しかし、(今、本文では)彼女の小さな子供たちが生まれた後、または孵化した後の時が来ます。ワシは卵を産み、小さな赤ちゃんが孵化します。彼らは小さくて、白くて、ぼんやりした顔をした仲間たちです。そして母親は、彼らが良い大きさの鳥になるまで、くちばしから彼らに餌を与えます。そして

彼女はそれらを手に入れ、降りて獲物を見つけます。彼女は小さな子供たちに食事を与えるために戻ってきます。

69 それは鶏肉とはなんと違うのでしょうか。地球に縛られた鶏は納屋に巣を作り、年老いたイタチや通り過ぎるものすべてにとって開いた墓を作ります。

70 私はそれを、今日のこの世俗的な教会、今日の世俗的な人々と比較します。彼らはただこう言うのです。“ああ、まあ、彼らを連れてきて、洗礼を授け、彼らの名前を本に書き記してください。” 彼らはオープンな主題であり、鷲ではありません。いいえ 先生。鷲はそんなことはしない。教会に連れて行かれ、ショートパンツを履いたり、飲んだり、タバコを吸ったり、そのまま続けることができるかもしれませんが。教会の年老いた鶏がそれを鳴らすことはできるかもしれませんが、母鷲は決していません。彼女はあなたをそれを超えて連れて行きます。

71 ああ、あなたは言います、“鶏も鳥です。” わかってる。しかし、彼は地球に縛られたスカベンジャーです。そうだね。彼は天国のことを何も知りません。彼は一度もあそこに来たことがないので、ここに巣を作るだけです。そして犬食い犬。しかし、ワシはそれよりもよく考えます。

72 そして、彼女の小さな子供たち、つまり母鷲が生まれると、その母鷲は、自分の小さな鷲が鶏のようにならないと決意する時が来ます。ああ、それが大好きです。これが浸透することを願っています。その母ワシは、自分の赤ちゃんが他の鶏、地球に縛られた鳥のように行動しないと決意しています。彼女は彼らに経験を与えなければなりません。

73 それがキリストが教会に対してそうである方法です。教会に参加するだけでなく、宗派に属するものもあります。善良な市民である以上の何かがあります。確かに。キリストは母なる鷲のように、あなたがそれを手に入れるのを見るためにここにいます。

そして、母ワシは小さな子供たちの世話をし、彼らの経験が正しいことを確認する装備を備えています。それで、巣の中で騒ぎが起こる時が来ます。

おお、神よ、私たちに巣の中で騒ぎを送ってください。

74 鷲は若さを新たにする鳥のはずです。彼は時々、何歳になっても、数年ではなく、肉体的な構成で再び若い鳥に戻ります。彼は若さを新たにする。聖書には彼がそうしたと書かれていました。“あなたは鷲のように彼の若さを新たにします。” 彼は若さを新たにする。

75 私たちが疲れ果て、疲れ果て、引き裂かれ、中に入って力を新たにし、この世のあらゆる気遣い、流行、物事の上に鷲のように立ち上がる時、それは教会のなんと美しいタイプでしょう。

76 そして、私たちは再び、この年老いた母親が、ある輝かしい日に、巣をかき混ぜるべきだと考える時が来ていることに気づきました。彼女は駆け込む；彼女に何か問題があるようだ。彼女は赤ちゃんを見渡し、検査します。ああ、双眼鏡を持って寝転がって、どうやって観察したか。

77 そして彼女は中に入り、すぐに巣に巣を作り、叫びました。彼女は何をしているの？彼女はあの小さな仲間たちに自分の呼びかけを教えています。“私の羊は私の声を知っています。” あの小さな仲間たちはその巣から出たことはありません。彼らはいつもそこに住んでいただけです。

78 それで、聖書が言及している彼女の行動は、巣をかき混ぜることです。彼女は叫びながら、あるいは巣の縁のそばに巣に止まり、その大きな翼を手に取り、前後に打ち、その上に突風を送ります。それは何をするのでしょうか？彼女は何のためにそれをしているのですか？緩んだ羽をすべて吹き飛ばすためです。

おお、神様！

79 彼女は彼らを最初の試験飛行に連れて行くことに決めています；彼らを巣から連れ出します。そして、教会が巣から抜け出すべき時があるとすれば、それは今です。そして、その二つの大きな翼は御言葉であり、彼女は彼らに御言葉を与え、御言葉を通してペンテコステの日のように強大な風が吹き荒れます。それはすべての緩んだ羽を吹き飛ばします；あなたがしがみついていた世界のすべてのものは、御言葉を通るその急ぐ強風が吹くと消え去ります。あらゆる緩んだ羽、あらゆる小さな主義、あらゆる小さな狂信、世界のあらゆる小さなものを吹き飛ばし、あらゆる羽を緩めます。なぜなら、それらの緩んだ羽は、あなたがあそこに上がると、それがあなたの死を引き起こすことがわかるからです。

そして、教会での緩い生活は教会に霊的な死をもたらしています。

80 母親は、赤ちゃんたちが登る準備ができていると決心しました。彼らはこれまで風を感じたことがなかったことを思い出してください、彼らはワシです。彼らは岩の裂け目で生まれました。それが大好きだ。

神は言いました。“岩の裂け目にあなたを隠します。” 彼の脇腹の裂け目。“そこに隠してあげるよ。” そこはあなたが生まれた場所です。